

中津川（盛岡市）でサケの稚魚調査を実施します

盛岡市内の市街地を流れる中津川では、10月にサケが遡上し、産卵しています。

岩手河川国道事務所では、河川利用者が多い毘沙門橋付近について、利用者の安全性確保の観点から河岸洗掘（※1）の対策を検討実施するため、サケの産卵・孵化状況を確認しながら、洗掘防止のための対策を実施する予定です。

このため、サケの専門家の方と下記のとおりサケの稚魚調査を実施いたします。

（※1）河岸洗掘

河川敷と水面が接する部分ののり面を河岸と言います。

河岸洗掘とは、そののり面が流水の作用によって削り崩されることを言います。

中津川サケの稚魚調査

日 時：平成22年1月20日（水）13:30～

場 所：中津川（毘沙門橋付近）

調査内容：サケ稚魚の生息状況確認

その他：当日の見学は自由です。

※ 天候などによって、予定が変更される場合があります。

<発表記者会： 岩手県政記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

岩手河川国道事務所

019-624-3198

工務第一課長 奥山 吉徳

岩手河川国道事務所盛岡出張所

019-636-1469

出張所長 細田 文一